

吉井瑞穂の オーボエを聴く

世界の第一線で活躍する
オボイストによる魅力のプログラム

【曲目】

フェリシアン・フォレ

Félicien Foret

羊飼いと田舎風のリズム

(「オーボエとピアノのための2つの小品」より)

Pâtres et Rythmes Champêtres pour hautbois et piano (1996)

平尾貴四男

Kishio Hirao

オーボエとピアノのためのソナタ

Sonate pour hautbois et piano (1951)

ロベルト・シューマン

Robert Schumann

歌曲より

ausgewählte Lieder

パウル・ヒンデミット

Paul Hindemith

オーボエとピアノのためのソナタ

Sonate für Oboe und Klavier (1938)

パヴェル・ハース

Pavel Haas

オーボエとピアノのための組曲

Suita pro hoboja a klavír (1939-41)

【出演】

吉井 瑞穂(ob)

宇根 美沙恵(pf)



©Marco Borggreve

2022年

12/12(月)

19:00(18:30開場)

Monday, 12 December 2022 19:00 (Doors open at 18:30)

東京大学教養学部

コミュニケーション・プラザ

北館 音楽実習室

College of Arts and Sciences, The University of Tokyo

Music Practice Room, Komaba Communication Plaza

入場無料(先着70名
うち東大駒場友の会10名)

東京大学の学生・教職員・東大駒場友の会会員・会友限定(同伴不可)



吉井瑞穂の オーボエを聴く

第25回 東京大学教養学部室内楽演奏会



吉井 瑞穂(オーボエ)

Muzuho YOSHII

甘美な音色と豊かな音楽性で世界の聴衆を魅了するオーボエ奏者。東京藝術大学入学後、渡独。カールスルーエ国立音楽大学を首席で卒業。日本音楽コンクール優勝、英バルビローリ国際コンクールおよび日本管打楽器コンクールで入賞。ベルリン・フィルのエキストラ奏者として活躍後、2000年から約20年間にわたってマーラー室内管の首席奏者として欧州を中心に演奏活動を行い、アバドをはじめ(共演200回以上)、ヴァント、アーノンクール、ブルーゼ、ハーディング、ドゥダメル、ロトといった巨匠の指揮で演奏を重ねた。欧州の主要オーケストラ、アンサンブルから頻繁に客演首席奏者として招かれる一方、ソロや室内楽でも精力的な活動を展開し、N響、新日本フィル、神奈川フィル、名フィル、九響、テツラフ弦楽四重奏団、アンスネス、フロストラと共演。

ニューヨークのマンハッタン音楽院、イギリス、スペイン、ドイツ、コロンビア、ベネズエラなどでマスタークラス教授として招かれ、後進の指導にあたる。

東京藝術大学准教授。ルツェルン祝祭管設立メンバー。第49回JXTG音楽賞(現ENEOS音楽賞)奨励賞受賞。鎌倉市出身・在住。

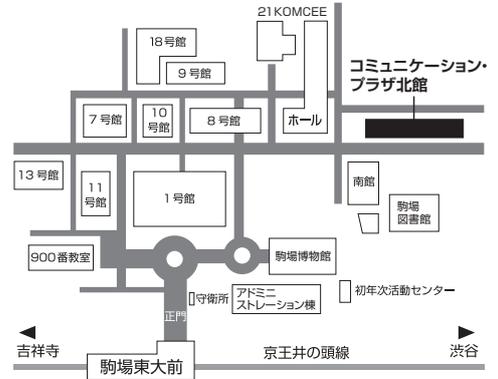
2022 12/12 mon. 19:00

東京大学教養学部

コミュニケーション・プラザ北館 音楽実習室

〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1

(京王井の頭線 駒場東大前駅下車)



宇根 美沙恵(ピアノ)

Misae UNE

東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業、その後同大学同学部楽理科卒業。

PTNAピアノコンペティション、日本ピアノ教育連盟オーディション、かながわ音楽コンクール等が入賞、入選。ペルージャ音楽祭にてイ・ソリスト・ディ・ペルージャ(弦楽オーケストラ)と共演。クールシュベール夏期国際音楽アカデミーにてJ. ルヴィエ氏のマスタークラス修了。またE. ル・サー ジュ、F. ボーグナー各氏等のマスタークラス修了。ピアノを佐野幸枝、北島公彦、浜口奈々の各氏に師事。これまで国際ダブルリードフェスティバル、日本木管コンクール、浜松国際管楽器アカデミー、ロームミュージックファンデーション音楽セミナー等にて公式ピアニストを務める。リサイタルやNHK-FMにて国内外の演奏家との共演を重ね、室内楽やオーケストラとの共演等多方面にて活動している。現在、東京藝術大学音楽学部非常勤講師(演奏研究員)。